

【議案の審査内容】

議案第7号「弥富市議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について」

議案第8号「弥富市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正について」

問 弥富市特別職報酬等審議会の構成と答申内容は。

答 条例に基づき、構成員は幅広い分野の10名に委嘱。「改定率1.4%引き上げ」と答申。

問 前回の弥富市特別職報酬等審議会はいつか。

答 平成28年度。

問 今回の開催の経緯は。

答 前回開催から年月を経て昨今の社会状況の変化が大きいことを踏まえ市長が諮問を行った。

問 今後の方向性は。

答 隔年での開催を予定。

議案第11号「弥富市ふるさととみ応援基金条例の制定について」

問 本基金を条例で新設する必要性は。

答 一度基金に積み立て、基金の繰入れという形をとることで、用途を明確にするとともに、寄附者の希望に添った予算編成が行える。

議案第14号「調停の申立てについて」

問 どのような解決を目指すのか。

答 安定的に学校用地とすることを目指す。

議案第16号「弥富市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について」

問 乳児と幼児の区分をなくすと、保育士配置に影響はないか。

答 本市は定員5人に対し保育士2人を配置予定で、全員が0歳児でも基準を満たす。区分をなくすことで、空きがあれば最大5人まで柔軟に受入れできる。

議案第17号「弥富市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について」

問 こども誰でも通園制度の詳細は。

答 生後6か月から3歳未満で保育所等に通っていない子どもが対象。保護者の就労要件に関係なく月10時間まで利用可能。大藤保育所にて実施予定。専用システムで申請、面談後に予約利用が可能。一時保育との併用も可能。



▲大藤保育所

議案第20号「弥富市木曾川用水濃尾第二施設改築基金条例の制定について」

問 事業の目的は。

答 揚水機場を含めたパイプライ

ン関連施設が、通水開始から40年以上経過し、機能低下が顕在化しているため。

問 事業の計画期間は。

答 令和4年度から令和18年度までの工期としているが、延長が考えられる。

問 本市の事業負担金は。

答 関係市町村分の約60%に建設利息が上乗せされ、約15億円を見込む。

議案第22号「令和7年度弥富市一般会計補正予算（第11号）」

問 補正後の財政調整基金残高は。

答 令和7年度末で約16億9,400万円の見込み。

問 減債基金積立金の原資は。

答 臨時財政対策債償還基金費として追加交付された2,448万1千円。

問 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の総額は。

答 令和7年度国補正予算の推奨事業メニュー分に係る交付限度額は、3億3,428万9千円。

議案第25号「令和8年度弥富市一般会計補正予算（第1号）」

問 中学校給食費も小学校給食費と均衡を考えないか。

答 小学校への1食300円補助は「給食費負担軽減交付金」を活用。中学校は、国の直接的な無償化対象外であり「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を活用し、1食30円の補助を行う。

【討論】

反対 那須英二、佐藤仁志 議員

可決 議案第1号

市制20周年事業の市民負担や給食費無償化見送り等、生活への配慮が欠如している。県下最悪の財政下で、駅自由通路等の無謀な計画により今後5年で約80億円の借金を見込み、未来へのビジョンがなく将来に莫大なツケを回す予算案である。

反対 那須英二 議員

可決 議案第3号

賛成 横井克典 議員

保険料の継続的な値上がり今回の大幅な引き上げにより、市民の負担は既に限界である。現行制度の維持は困難なため、公費投入を含む抜本的な制度改正が不可欠である。

討論

本会計は38億9,180万円で前年度比950万円増。保険給付費約26億円、県納付金約12億円を適切に計上し安定運営を確保。財源も確保され低所得者配慮や保健事業の充実も評価でき、妥当な予算であると判断する。